

競技注意事項・連絡事項

1. 本大会は 2025 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本記録会申し合わせ事項によって実施する。

2. 競技場内での練習は 7 時 0 0 分から 8 時 4 5 分までとする。

その後の競技間の練習においては競技役員の指示に従うこと。

3. 競技者の招集方法

選手招集は 2 日間とも 8 : 2 0 までに本部席にて各チームの代表者が一括して棄権者を報告する。

トラック種目・フィールド種目ともに 1 0 分前に現地で点呼を受けること。

4. アスリートビブスについて

アスリートビブスは胸と背につける事。ただし跳躍競技は胸または背に 1 枚つけるだけでも良い。

5. 跳躍競技について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳(男子)	130	135	140	145	150	155	160	3 cm ずつ
走高跳(女子)	110	115	120	125	130	135	140	3 cm ずつ
棒高跳	200	220	240	260	280	300	320	3m80 まで 20 cm ずつ 3m80 から 4m まで 10 cm ずつ以後 5 cm ずつ

走幅跳のピットはスタンド側を A ピット、トラック側を B ピットとする。

6. フィールド種目の試技数について

選手権の部は 3 回試技、記録会の部は 2 回試技とする。

走高跳の記録会の部は、2 回連続で失敗した場合は次の高さに進むことは出来ない。

7. 競技用具について

(1) ワールドアスレチック規則第 143 条 (TR5 : シューズ) のルールを適用する。

スパイクピンは 1 1 本以内、長さはトラック競技 9 mm 以下、フィールド競技は 1 2 mm 以下とする。

靴底の最大厚さは、2 0 mm 以内とするが、靴底の厚さが 2 0 mm 以下であっても、WA の認定靴一覧で禁止されているシューズは使用出来ない。

競技前、競技中に競技役員が疑義を抱いた競技用靴については、競技終了後に審判長の権限で検査を行う事が有る。

岡山県記録以上の新記録が出た場合は、競技終了後に検査を行う事が有る。

8. スタートについて

(1) スタートの合図はイングリッシュコマンドとする

(2) 不正スタートは 1 回のみとし、その後に不正スタートした競技者は全て失格とす

る。

9. その他

- (1) 競技の進行状況によっては種目の開始時刻が変更になる場合があるので、放送をよく聞いて競技に遅れないように気をつけること。
- (2) 貴重品や持ち物は自校で管理すること。
- (3) 弁当がら・ゴミは各学校で持ち帰ること。
- (4) 審判員・補助員が少ないので、協力して競技運営に当たること。
- (5) 競技場周辺の民家や運動公園利用者に迷惑となる行為は厳につつしむこと。